

6月定例会



▲平成27年6月24日(水)栗源小学校で第3回家庭教育学級・親子おやつ作り教室が開催されました。1年生の親子が、よくかんで食べる習慣づけになるよう、カルかみおこのみやき(かたいお好み焼き)を作り、みんなで楽しく食べました。

一般会計補正予算など16議案を

可決・承認・同意

「重度心身障害者(児)・8月から医療助成受給券を発行」

平成27年6月定例会は、6月2日から19日までの18日間にわたり開催されました。本定例会には、平成27年度香取市一般会計補正予算議案など16件、発議案2件が提出されました。

2日の初日は、諸般の報告・会期の決定の後、歳入歳出予算に6億5427万円を追加し、補正後の総額を335億3427万円とする一般会計補正予算、条例の一部改正など15議案、報告6件について、市長より提案理由の説明が行われました。

4日は、議案11件について、1人の議員から質疑の後、各常任委員会に審査を付託。請願3件については、所管の福祉教育常任委員会に付託しました。

10日・11日の一般質問では、9名の議員が市政全般にわたり質問を行いました。

15日・16日は、各常任委員会が開かれ、付託された議案等の審査が行われました。

19日の最終日は、議員

表彰の伝達の後、初めに各常任委員長から付託された案件の審査結果が報告され、2人の議員から討論の後、採決した結果、議案第1号から第5号、第10号から第15号までの11件についてはいずれも原案のとおり可決・承認。議案第6号から第9号の人事案件については同意されました。次に、市長提出の人事案件に関する追加議案1件について同意。その後、3件の報告がありました。請願第2号、第3号については、いずれも採択。第4号については、不採択。

次に、発議案第1号、第2号については、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。最後に、香取市都市計画審議会委員の選出が行われ、全日程を終了しました。

可決された主な議案

議案第1号 平成27年度香取市一般会計補正予算(第1号)
民生費では、ひとり親家庭扶助事業において、母子生活支援施設への入所世帯が増えたことから、入所措置委託料263万6千円を追加するものです。また、土木費では、橘ふれあい公園整備事業に2か年の継続費を設定した(仮称)交流館の建設事業について、委託料6億618万円を計上するものです。

議案第5号 工事施行協定の締結について
小見川浄化センター長寿命化事業建設工事委託に関する基本協定を日本下水道事業団と締結するものです。本工事は、老朽化した施設を順次更新することで、安全で安定した汚水処理を行うためのもので、平成27年度から平成30年度までの4か年で実施し、協定総額は5億2000万円です。

議案第12号 専決処分承認を求めらるることに
(専決処分第13号 香取市条例等の一部を改正する条例の制定について)
ふるさと納税の寄附金税額控除の特例、環境への負担の少ない軽自動車税の軽減、旧3級品の製造たばこの税率の見直し等に伴う対応等を行うものです。

議案第13号 専決処分の承認を求めらるることに
(専決処分第14号 香取市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)
国民健康保険事業の健全な運営を図るとともに、低所得者の負担を軽減するため、課税限度額の引上げ及び軽減対象者の拡大等を行うものです。

議案第16号 副市長の選任につき同意を求めらるることに
6月30日をもって軸丸副市長が退任することに伴い、新たな副市長に、旭 健一氏を選任したく、地方自治法第162条の規定により議会の同意を求めらるるものとす。

6月定例会の日程

6月 2日(火)	本会議
4日(木)	本会議
10日(水)	本会議(一般質問5人)
11日(木)	本会議(一般質問4人)
15日(月)	総務企画常任委員会 福祉教育常任委員会
16日(火)	経済建設常任委員会
19日(金)	本会議

一般質問 市政の「二」がききたい

一般質問は、市長などに市政全般に関する疑問点や方針などをたずねるものです。6月定例会では、6月10日(水)・11日(木)にかけて、9人の議員が、一般質問を行いました。紙面では、その一部を要約して掲載しますが、詳細については、議会ホームページ・会議録をご覧ください。(8頁に閲覧についての説明があります)

教育委員会制度改正に伴う市当局及び教育委員会の対応は

高木 寛 議員

問 今回の改正により、首長が各地方公共団体に「総合教育会議」を設置し、そこで教育施策の大綱を決定するなど、首長の教育行政への関与が強まったが、宇井市長の対応は。

答 新たな教育委員会制度には、「教育行政の責任体制の明確化」、「迅速な危機管理体制の構築」、「地域の民意を代表する首長との連携強化」などが期待されています。これを受け、市は、新制度の趣旨に鑑み、いち早く改正法施行と同時に、山本教育長及び4人の委員による新体制で、教育委員会をスタートさせました。また、新制度は、すべての地方公共団体の長に「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を定めることを求め、その策定に関する協議・調整を行うため「総合教育会議」の設置が規定されています。今後は、今までも増して、市長部局、教育委員会それぞれの責任と役割を着実に果たしな

問 今度の教育長は、従来の非常勤の教育委員長と一般職の教育長を統合した教育委員会における特別職の最高責任者である。文部科学省から出向の山本教育長は、香取市の教育行政全般にどのように取り組むのか。

答 新制度の最大のポイントとは、教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置で、これによる教育に関する第一義的な責任者が教育長であるというところが明確になりました。新しい教育長の責務は大変重く厳しいものですが、4名の教育委員とともにこの職責を全うしていく所存です。学校教育においては、子供たちの確かな学力の向上、そして豊かな心と健全な体の育成を目指し、教育環境の整備、教員の指導力向上を着実に進めていきます。地域の自然、歴史、

文化的環境など、地域の特性を題材とした学校教育の推進やいじめ、あるいは不登校といった児童・生徒への対応などに重点的に取り組んでいきます。社会教育、家庭教育においては、家庭、そして学校が連携し合い、次世代を担う子供の育成に取り組むシステムの構築と支援を進めていきます。また、歴史及び文化振興に関しては、市内にこれまで脈々と受け継がれてきた特色ある伝統文化の継承を積極的に支援していくとともに、国宝の伊能忠敬翁関係史料を活用した企画展や教育普及事業などを重点的に行っていくと思います。平成30年には伊能忠敬翁没後200年という節目の年を迎えます。これに向けた取り組みなども今後、進めていきたいと考えています。

問 「総合教育会議」の設置状況と開催内容は。

答 新制度に基づく「香取市総合教育会議」を設置し、4月23日に第1回会議を開催しました。会議では、総合教育会議の運



▲市街地整備が進められている小見川駅前

営要綱の決定や今年度における会議の開催スケジュールなどを議題として協議、調整を行いました。

問 県下における新制度の導入状況は。

答 県内37市17町村のうち、現時点において新教育長を任命しているのは、本市をはじめ9市4町、計13市町です。

問 小見川市街地(駅前)整備事業の状況は

答 私はこの事業が今後の安定と、駅前通勤通学時の交通渋滞の解消に役立つものと期待している。その全体計画と進捗状況は、

問 今後の整備予定及び南八青年館の整備は。

答 現在、用地買収及び補償業務を進めています。権利者の皆様には事業の趣旨について御理解をいただき、平成27年度中の取得を目指して個別に交渉を行っています。工事は、駐車場整備に係る造成工事を平成27年度に一部実施します。そのほか駅前広場や歩道整備については、平成28年度に着工して年度内の完成を目指しています。南八青年館は、当初事業区域には含まれていませんでしたが、詳細設計を行う中で改めて協議と検討を重ねた結果、より機能的な駅前広場とするために青年館用地を事業区域とすることとなりました。南八軒町内会の役員の皆様へは、昨年度から事業の概要や移転に伴う補償内容につきまして御説

明を行い、御理解をいただきました。平成27年5月に補償の契約を締結するに至っています。なお、移転先は、整備予定の駐車場の東側を予定しています。

問 駅前側(小見川支所側)の整備予定は。

答 現在、整備を進めています。駅前広場が完成した後に住民の皆様のご意見を伺いしながら、整備の必要性を含めて検討していきたいと考えています。

問 香取市における下水道及び下水道事業の整備予定は

答 両事業の全体計画及び進捗状況は、

問 年度末の全体の計画給水区域内人口は7万2832人で、給水人口は5万9903人となっていて、計画給水区域における普及率は82.2%となっています。整備計画は平成22年3月に水道事業の基本構想である香取市水道ビジョンと、このビジョンに基づき今後取り組むべき事項を示した香取市水道事業基本計画を策定し、これらに基づき老朽化した城山第2浄水場を初めとする水道施設の更新、改良や老朽配水管などの布設替えを行う整備計画を作成し、この計画に基づき事業を実施しています。下水道は、佐原処理区と小見川処理区の2つの処理区を全体計画区域として都市計画決定しています。計画面積は佐原

処理区が1117ha(ヘクタール)、小見川処理区が845haで、合わせて1962haとなっています。このうち事業認可区域が佐原処理区で615ha、小見川処理区で444ha、合わせて1059haです。現在の進捗状況は、平成27年4月1日現在での汚水処理に關して、佐原処理区が411.03ha、小見川処理区が291.07ha、合わせて702.1haの整備が完了しています。面積比では66%、人口比では88%の整備が完了しています。

問 山浄水場及び老朽管の整備予定は。

答 城山第2浄水場は、施設の老朽化から平成25年、26年度に更新を検討して、現在の場所でも更新できるということが確認できています。平成29年度までに基本設計及び実施設計を行い、平成29年度から32年度の間で更新工事を実施する予定で検討しています。水道管の更新は、石綿管などの老朽管は耐震性にも劣るため、漏水防止の観点から優先的に布設替えを行っています。平成27年度は木内地先などで石綿管を耐震管に布設替えする工事を予定しています。なお、経費

問 北小川地区の下水道の整備状況と今後の予定は。

答 北小川地区の整備は、あと四、五年程度かかるものと想定しています。また、平成27年度は汚水適正処理構想の見直しの年度になっています。整備計画は、この構想の中で詳細を検討していきたいと考えています。

問 今後の汚水処理見直し計画の内容は。

答 汚水適正処理構想は今後どの手法により整備するかという区分けをするための構想であり、具体的には公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の3つの手法を用いて地域ごとの人口の密集度や地形、経済性などを総合的に勘案して、また住民の意向も考慮した上で効率かつ適正な整備計画を策定していくというものです。今回の構想の見直しは、経済比較を基本としながら、今後10年程度で各種汚水処理施設の整備をおおむね完了するという目標として計画する予定です。

新たに作る公共施設は 市民の納得のいくものに

河野節子 議員

問 現在更地になっている旧清見屋跡地の利活用について、市民の意見聴取は。

現在更地になっている旧清見屋跡地の利活用について、市民の意見聴取は。

置されることが期待されま

す。

問 まちの駅は、設置主
体や場所に制限がな
く、設置運営にほとんど費
用がかからない。商工会と
の連携で地域創生の鍵とな
るのでは。

答 まちの駅と同様の機
能を持つ施設は、町
並み交流館や観光案内所な
どがあります。まちの駅の
機能は非常に多分野に渡る
ことから関係各課と連携し
て、研究していきます。

問 地域の憩いの場とな
る多くのまちの駅が
出来る事によりネットワー
クが繋がる。積極的な取り
組みを。

答 先進的な事例を研究
していきます。

空き家対策強化特措 法活用で危険空き家 対策の抜本改革を

問 空家対策特別措置法
が施行。今後の取り
組みは。

答 法律に基づいて、県
内の自治体と連携・
情報共有しながら、地域の
実情に合った対策がとれる
よう進めていきます。

問 増え続ける空き家は
全国で820万件。
県は12・7%だが、市の現
状は。

答 全体数
は把握
していません
が、苦情や相
談が寄せられ
ているものが
34軒です。



▲空き家バンク
案内パンフレット

問 特定空家としての勸
告に従わない場合は
固定資産税1/6の優遇措
置が受けられず、50万円以
下の過料となる。命令に従
わない場合は強制撤去でき
るが、該当件数と通知方法
は。

答 現在、危険と判断し
て、所有者に適切な
管理を依頼しているのが15
軒です。勧告の場合は、書
面により配達証明郵便で相
手方に通知します。

問 所有者に対して、除
却・修繕等の指導や
勧告・命令等が行える「特
定空家等」の判断基準のガ
イドラインは。

答 空き家は、1年以上
人が住んでいない物
件と考えます。国からもガ
イドラインが示されてい
ますが、市の実情に依りて
詳細な基準を定めていきま
す。

問 空き家にしない対策
として空き家バンク
があるが市の取り組み状況
は。

答 空き家バンク事業
は、売買や賃貸を希
望する空き家所有者に登録
してもらい、登録された情
報を市がホームページなど
に公開して、市内に移住し
たい人に紹介する仕組みで

す。市では、平成27年度か
ら事業をスタートさせます
が、現在、ホームページ上
に公開する情報の検討をし

香取中の佐原中への統合は必要ない

久保木宗一 議員

問 香取中を統合し
ようとする理由
は、生徒数が減少し教
員の数不足するとい
うことか。

答 津宮小学校と大
倉小学校の統合
を検討・協議している
中で、香取中学校の小
規模化に対する懸念の
声が多く出され保護
者説明会またはアン
ケートを実施することにな
りました。小規模校の課題
については、各教科の複数
の教員が配置できないので
習熟度別に授業を行うこと
が困難なこと、免許外の教
員で対応しなければならな
い状況が発生することなど
が挙げられます。



▲香取中学校 (津宮)

問 香取中は、5教科・
4教科共に教員不足
の問題はありません。今後
7年間は2学年2クラスが
継続し、近い将来35人学級
が実現するであろうことか
ら少なくとも10年間は統合
する必要はないので香取中
の佐原中への統合は、10年
後に先延ばしすべきではな
いか。

答 教育委員会として生
徒たちの教育条件を
よりよいものにしていき
たいと考えていますので、保

ています。平成27年7月8
月を目途にシステムの運用
の開始を予定しています。

行事、部活動が活性化する
ことが考えられます。

「新オレンジプラン」で 認知症対策の強化を

田代一男 議員

問 政府は認知症対策の
ため「新オレンジジ
プラン」を策定しました。「新
オレンジプラン」への取り
組みを伺います。

答 第6期介護保険事業
計画では、認知症高
齢者に対する施策の充実が
重点取り組み課題です。こ
のため、認知症予防教室や
認知症サポーター養成講座
等の認知症の知識の普及や
情報提供の充実を図ります。
また、相談体制の充実や医
療機関と介護サービス事業
者との連携の推進、認知症
の方々の見守り等を含めた
地域支援体制の構築を推進
します。

問 認知症の早期発見・
診断のため国が求め
ている初期集中支援チ
ームの設置に対する取り組みを
伺います。

答 第6期介護保険事業
計画に示されている
認知症初期集中支援チ
ームの立ち上げは、認知症
の初期検討委員会、具
体的な取り組みに向け
た検討を行っていきま
す。

問 認知症の方の介
護者の負担軽減
を図り、地域の中で認
知症の知識を普及させ、
住民同士が支え合うた
めの認知症カフェの設
置について伺います。

答 現在、高齢者の閉じ
こもり予防を目的と
したミニデイは行っていま
すが、認知症カフェの設置
はありません。



▲高齢者グループホーム (佐原木)

問 有料老人ホームのガ
イドラインの見直し
を受けて、サービス付き高
齢者向け住宅も指導の対象
となりましたが、香取市の
対応は。

答 ガイドラインに基づ
く直接の指導は、県
が行いますが、市は、入居
されている方に適切な介護
サービスが提供されている
かという面から、指導等を
行っています。

問 障害年金の判定に対
する相談には丁寧な
対応を

問 障害年金の不支給判
定の割合に都道府県
間で約6倍の差があります。
市民が障害年金を申請した
際に不支給になった方や障

答 世界的な異常気象は
ありません。市でも平成25年の
台風26号による大雨で24時
間降水量が観測史上1位の
351・5mmを記録し、各
地で被害が発生しました。
市の地域排水の基本的な考
えは。

問 津宮・大倉地区の地
域排水路の整備と冠
水対策を

答 市の地域排水は、道
路側溝がなかったり、
排水先の河川が整備されて
いない箇所があり、多くの
地区要望が寄せられている
のが現状です。

害年金が減額になったとい
う相談が香取市に届いてい
ますか。

答 平成26年度の新規の
申請件数は45件でこ
のうち1件が不支給でした。
障害の程度や前年の所得等
の受給内容の確認が828
件あり、このうち減額決定
が15件でした。この減額決
定を受けた方から相談があ
り、その内4名の方につい
ては、等級が見直されまし
た。

問 「パーキングパー
ミット制度」で障
がい者の外出支援を

答 本制度は、利用対象
者が明確化されるこ
とや、利用対象者以外の方
による利用がある程度減少
すること等一定の評価があ
る一方、利用者数に応じた
駐車スペースの確保や大規
模商業施設や病院等、利用
者ニーズの高い施設に対す
る制度への協力依頼が必要
なこと等の課題も指摘され
ています。これらの課題等
の検証を行い、今後、県と
協議を進めながら、対応を
検討していきます。

災害から市民を守るには、 自助・共助は元より公助が重要

久保木清司 議員

問 津宮・大倉地区の地
域排水路の整備と冠
水対策を

答 このことから、市でも排
水整備を進めると共に、排
水困難地域にはポンプ施設
などの整備を進めていると
ころです。冠水対策とし
て、平成25年度に小見川
地区に外浜排水機場を、ま
た、現在、東日本大震災で
地盤の液化化と沈下による
著しい被害を受けた佐原処
理区内の北部第6排水区に
おいて、ゲート付ポンプ施
設の設置を進めています。
今後も、地域ごとの実状を
踏まえ、地区の排水整備及
び河川の整備を行っていき
ます。

問 水郷土地改良区へ通
じている排水路は何

答 水郷土地改良区へ通
じている排水路は何

か所か。その排水流域地区はどこで、排水流域面積は

津宮・大倉地区において、幹線排水路、6トン導水路及び水郷路に通じる排水路は、大きな水路として、津宮地区では堀川、大倉地区では流れ川

です。その他、各地区の排水路となっています。排水流域は、おおよそのエリアとして、津宮、吉原、丁子、香取、多田の一部、大倉、大倉丁子の地域で、その排水流域面積は、概算で1400haと考えています。

堀川と流れ川を重要な地域排水路として重要な機能を果たした水路と認識しています。

流れ川は、過去の大雨や台風の際、何度か浸水被害が起きています。原因は、水路の流下能力を超えるような集中豪雨によることや、当該浸水箇所とところで水路断面が絞られていることなどが考えられます。今年度はこのボトルネックとなっている堰の撤去工事を行うことで、現在進めています。

津宮1・2区(国道356号)周辺が、度々冠水しているが原因は、堀川の受け持つ流域面積が広範囲であることや、雨水が浸透する土地が減少

していること、また、国道356号の道路面及び周辺の地盤が低いこと、そして降雨量に対して国道356号から下流の6トン導水路への吐き出し口の断面が不足していることなどが考えられます。

冠水への対策は、市はどのようなか。国道356号は防災の観点からも大変重要な主要幹線道路と認識しています。

この冠水対策は、国道356号の道路管理者の香取土木事務所とも協議をして、改善策を検討しています。まずは、国道356号から下流の6トン導水路への吐き出し口の改修を考えています。

吉原工区から2か所ある排水路の拡幅工事の予定は、問題点と原因は。JRから南側の住宅とその周辺の雨水排水を行っている水路は、一部土砂の堆積はあるものの、断面的には特に問題はないと考えています。

もう1か所の水路は、JRから南側の区域の吉原工区のほぼ全域を受け持っている水路であり、この排水路は、6トン導水路への吐き出し口の断面の改修工事を進めていきたいと考えています。

市は水害に対してどう思うか。県・市・土地改良区での話し合いは、国道356号の冠水は、沿道の市民の日常生活に支障となることはもちろんのこと、主要幹線道路が通行止めになることによる経済活動などへの影響等から、大変大きな問題であると認識しています。

国道356号は重要な役割を担うため、平成26年度、道路冠水対策は香取土木事務所、そして水郷土地改良区と協議、検討をしていくことで調整をしています。今後とも香取土木事務所や水郷土地改良区、北総東部土地改良区吉原工区と連絡を密にし、連携して冠水対策に臨んでいきたいと考えています。

情報は多方面より集約し一元化をそして共有化する

「情報無くして対応なし」と言われるが、市の情報収集の基本的な方針は、大規模災害発生時に、通信の途絶や輻輳等が予想され、地元自治体をはじめ、県及び防災関係機関は、日頃から防災通信網の整備充実に努め、情報

の収集及び伝達に係る応急措置をとることとしています。市では、屋外広報塔のみならず、防災行政無線等の整備拡充に努めており、県、県警等の関係機関や、東日本電信電話株式会社等の通信事業所でも、それぞれ災害通信施設の整備を進めていますので、当該無線等の活用による相互連携に加え、非常通信体制の充実強化やアマチュア無線の活用等を想定し、災害発生時における情報対応施策の拡充に努めています。具体的に、電気、電話等のライフライン全てが市域全体、又は広範囲で途絶えた場合の情報収集、及び伝達手段は、各設備が復旧するまでの間、防災関係機関の当該通信無線による対応のほか、そのほとんどを直接、マンパワーで行います。

自主防災組織との連携強化を図る一環として、情報を収集する具体的な方法や各組織同士の連絡手段等について検討するなど、活動の活性化を図りながら、より一層の体制整備を進めていきたいと考えています。

ドローンによる情報収集の考えはあるのか。現在、市では、その具体的な活用策を用意していませんが、災害の種類や規模、地形等の状況を踏まえ、情報収集及び対応に有効な場合や場面を想定し、必要に応じて、導入の是非を含めて研究していきたいと考えています。

山田・栗源への都市計画区域の指定は、住民の意向反映を宇井正一 議員

市は、市全体の一体性のある土地利用を図るため、山田・栗源区の都市計画区域の指定を進めています。この間の取り組みと住民の意向を反映した今後のスケジュールは、都市計画区域の指定は、平成20年度から都市計画マスタープランの策定作業に着手し、その中で検討してきました。その結果、市全域を都市計画区域に指定し、一帯の都市として計画的にまちづくりを進めていくこととなりました。マスタープランの策定は、市内の職員による検討部会を設置するとともに学識経験者、関係団体の代表、関係行政機関の職員及び市民等で組織する策定委員会を設置し、検討していただきました。最終的には、香取市都市計画審議会に諮問し、答申をいただいたところで、都市計画区域に関する市民への説明は、平成25年度から随時開催しており、その必要性などについて

別懇談会を延べ14回開催しました。山田・栗源地区は、都市計画制度になじみがないことから、地域別懇談会とは別に意見交換会や住民説明会を延べ4回開催しました。また、都市計画マスタープラン(案)の作成に当たっては、市内の関係部署の代表者で組織する市内検討部会、学識経験者や関係団体あるいは市民の代表などで組織する策定委員会を設置し、市民の意見を踏まえながら協議を行ってきました。なお、市全域を都市計画区域とすることを目指すということも盛り込んだ経過は、都市計画マスタープランを策定する上で、都市計画区域の方向性は最も基本的な事項であることから明記しました。

指定に向けて、市内部会・策定委員会でも十分議論されたか。最後の市内部会でも「市民の理解度は低い。十分な市民対応を図りたい」と議論されている。山田・栗源を指定するメリットがあるとの議論になっていないのではないかと。マスタープランを策定する上で、様々な意見が出されました。その中で議論されて、決定されたことが重要であると思えます。

策定委員会も、「住民」と行政の間に溝が生

反対陳情者のみを対象のアンケートは憲法に抵触の恐れ

アンケート調査は、全戸を対象でなく、反対陳情者のみを対象に行つたのでは、中立・公正な住民の意見が得られるのか。憲法16条の請願権に抵触しないか。

憲法論はお答えはできませんが、反対の陳情者に対し内容を詳細に把握することは必要と思われ

ます。今後、必要があれ

ます。

ます。

ます。

ます。

ます。

ます。



▲大雨による冠水(津宮地区)



▲都市計画マスタープラン冊子

通学路の危険箇所、早急な安全対策を

坂本洋子 議員

ば、陳情者の真意を調査を
実施することはあり得ると

思われます。

問 香取市通学路交通安全
全プログラムに基づ
く安全対策の進捗状況は。

答 平成26年度、佐原地
区と栗源地区で香取
警察署、県香取土木事務所、
市関係課及び学校職員、P
TAによる通学路合同点検
を実施しました。この合同
点検を受け、関係機関が連
携し、外側線を引く路側帯
のカラー舗装、横断歩道の
設置及び移設などの安全対
策を施し、通学路の安全性
を高めました。平成27年度
は小見川地区と山田地区に
ついて、小学校の通学路の
合同点検を行います。平成
27年5月13日に今年度の第
1回香取市通学路安全推進
会議を実施し、関係機関に
よる合同点検をする場所を
精査し、決定しました。今
回は18か所の合同点検を平
成27年6月24日に予定して
います。

の歩道整備は要望してい
たいと考えています。

問 佐原小体育館、旧給
食センターから浄土
寺付近までの危険と背中合
わせ、いつ事故が起きても
おかしくない危険箇所の整
備は。先延ばしでなく期限
を定めた計画策定を。

答 市道の幅員が狭く、
また住宅が密集して
いるという状況であり、拡
幅するにしても用地買収が
非常に難しく、歩道の設置
や道路の拡幅は非常に困難
かと考えています。現在、
都市計画道路の仁井宿与倉
線の整備を進めていて、こ
れが供用開始になれば、通
過交通などの分散により、
この市道の交通量も減って
くるのではないかと考えて
います。

**水生植物園、市道の
閉鎖で地域住民の利
便性は**

問 市道3593号線、
閉鎖の目的と地域住
民の合意形成は。

答 この市道を含めた再
整備事業を行う計画
となっており、通常時には
市道の両側をゲートなどで
閉鎖することから、市道も
廃止することになります。
この市道を含めた再整備と
することで、来園者の皆様

問 県道佐原八日市場線
牧野地先の早期改良
で通学路の安全確保を。

答 佐原八日市場線の都
市計画道路の事業区
間から豊橋までの間の歩道
整備は、県へ毎年要望して
います。今後も引き続きこ

に水生植物園と与田浦が一
体となった雄大な風景を提
供することで、リピーター
の確保に大きく寄与できる
ものと考えています。市道
の廃止に伴う地域の皆様の
利便性は、この市道の代替
となり得る道路が周辺に複
数存在していることから、
大きな支障はないものと考
えています。また、非常時
における対応として、閉鎖
しているゲートを開放し、
通行を可能とします。ゲー
トの開放は、水生植物園は
もとより、県をはじめ、地
元の区長さんや消防団など
にもかぎを渡し、対応して
いくことを考えています。

問 減少が続く人口対策
として転出を抑えて
転入促進に効果があると期
待される転入者マイホーム
補助金の創設を。

答 県内の市町村でも移
住支援制度として、
新築住宅等取得した転入
者に対して補助金を交付し
ている団体がありますが、
実施している団体の状況等
を十分に研究するなど、費
用対効果の検証に努め、導
入の可否について検討して
いきます。

**子育てのまち香取
をめざし、きめ細
やかな子育て支援
策を**

問 人口減少社会に対
応し、まち・ひ
と・しごと創生長期ビ
ジョンと総合戦略の策
定にあたって、若い世代
が安心して結婚、出産・

子育ての希望がかなえられ
るよう、しっかりとした位
置づけを明確にするととも
に、出産祝い金、入学祝い
金、学校給食費補助、第3
子保育料無料の拡充など市
としてすぐにも取り組める
支援策を。

答 支援策は、他市で実
施している人口増に
つながるような事業等を参
考に検討しますが、基本的
にはこの4月にスタート
した「香取市子ども・子育
て支援事業計画」に基づい
て子育て世帯への支援施策を
進めていきたいと考えてい
ます。学校給食費は、学校
給食法で経費の負担につい
て定められていて、これに
基づき保護者の負担とされ
るものについて、給食費を
いただいています。市では
就学援助制度による補助と
多子世帯に対する補助の2
つの補助制度をとっていて、
これにより現在取り組んで
います。

問 わんぱく公園の日陰
対策は。

答 利用者からの要望な
どを受けて、その対
策を進めていきたいと考
えます。



▲佐原小学校通学路(佐原イ)

請願2件を採択し意見書を提出しました

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上をめざして、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかにかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものです。

政府は、国家財政の悪化から同制度を見直し、その負担を地方に転嫁する意図のもとに、義務教育費国庫負担金の減額や制度そのものの廃止にも言及しています。

地方財政においても厳しさが増している今、同制度の見直しは、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮されます。また、同制度が廃止された場合、義務教育の水準に格差が生まれることは必至です。

よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求めます。

国における平成28年度教育予算拡充に関する意見書

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神に則り、日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っています。しかし現在、日本の教育は「いじめ」「不登校」、少年による凶悪犯罪、さらには経済格差から生じる教育格差等、様々な深刻な問題を抱えています。また、東日本大震災、原子力発電所の事故からの復興は未だ厳しい状況の中にあるといわざるをえません。

一方、国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進、様々な教育諸課題に対応する教職員定数の確保等が急務です。

千葉県及び県内各市町村においても、一人ひとりの個性を尊重しながら、生きる力と豊かな人間性の育成をめざしていく必要があります。そのための様々な教育施策の展開には、財政状況の厳しい現状をみれば、国からの財政的な支援等の協力が不可欠です。充実した教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層進める必要があります。

そこで、以下の項目を中心に、平成28年度に向けての予算の充実を求めます。

- 1 震災からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にはかること。
- 2 少人数学級を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること。
- 3 保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること。
- 4 現在の経済状況を鑑み、就学援助に関わる予算をさらに拡充すること。
- 5 子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること。
- 6 危険校舎、老朽校舎の改築や更衣室、洋式トイレ設置等の公立学校施設整備費を充実すること。
- 7 子どもの安全と充実した学習環境を保障するために、基準財政需要額の算定基準を改善し、地方交付税交付金を増額すること。

【提出先】

内閣総理大臣・財務大臣・文部科学大臣・総務大臣

各常任委員会の審査から

6月4日の本会議で各常任委員会に付託された案件の審査を6月15日(月)16日(火)に行いました。
ここでは、各委員会の審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。

総務企画 常任委員会

問 議案第1号 平成27年度香取市一般会計補正予算(第1号)について、情報管理一般事務費に係る電算システム業務支援委託料284万円の委託内容は、

答 社会保障・税番号制度へ対応するため、必要機能の整備を行うもので、個人番号を管理する機能及び、国管理の中間サーバーと連携する機能の追加等を行うものです。

問 液状化対策事業の内容は、

答 佐原地区の側方流動の事前情報として、まずは対策実施区域周辺の家屋の状況把握を行うほか、地下水位の調査などを実施するものです。

問 (仮称)交流館の事業費の大幅な増加の理由は、

答 橋ふれあい公園を「香取のシヨールーム」と位置付け、市の紹介、市内各地域の観光や



▲橋ふれあい公園内に建設予定の(仮称)交流館完成イメージ図(長岡)

特産品などの紹介・販売、交流、体験、情報発信等を行っていく方針であり、(仮称)交流館は公園全体の管理機能をあわせ持つ複合施設として、その中心施設となるものです。建設費の増加の要因は、施設拡張や、軟弱地盤対策、工事資材の高騰、施設面におけるバリアフリー、展望デッキ、自然光の活用等によるものです。

討論

橋ふれあい公園整備事業のこの間における事業費の追加には納得がいかない。規模の縮小や設計の見直しにより身の丈に合ったものにしてほしい。これがあるがために、本議案に対しては反対せざるを得ません。

福祉教育 常任委員会

問 議案第3号 香取市重度心身障害者の医療費等の助成に関する条例の全部を改正する条例の制定について、助成金の支給方法について現物給付による対応が可能であるとのことであるが、その内容について、

答 重度心身障害者(児)の方は保険医療機関において医療費助成の受給券と被保険者証を提示して受診し、窓口で世帯区分に応じた一部負担金を支払います。一部負担金控除後の差額については、市が国民健康保険団体連合会等を介して医療機関へ支払うものです。

問 新たに65歳に達した後に重度心身障害者の認定を受けた方は、対象外となるのか。

答 65歳に達した日以降に新たに重度心身障害者の認定を受けた方については、今後は後期高齢者医療保険制度を適用することになります。

問 議案第13号 専決処分承認を求めること

とについて(専決処分第14号 香取市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)、法定限度額を上げる理由については、

答 県から法定限度額とするよう指導を受けていること。また、国は国民健康保険の賦課限度額について、被用者保険(社会保険)とのバランスを考慮し、超過世帯割合が1・5%に近づきよう段階的に賦課限度額を引き上げていくとしています。今後も基礎賦課分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の限度額超過世帯割合のバランスに考慮しながら、引き上げが行われていくことが予想されます。

問 議案第15号 専決処分承認を求めること

とについて(専決処分第1号 香取市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について)、第1段階が負担増になることについて、

答 国から減免を単独で実施するのは好ましくないとの指導を受けているので、現状のまま進めていきます。

問 議案第3号 香取市重度心身障害者の医療費等の助成に関する条例の全部を改正する条例の制定について、新たに助成金が現物給付により支給されることは大変評価できるので、賛成します。

討論 議案第13号 専決処分承認を求めることについて(専決



▲小見川中学校(小見川)

処分第14号 香取市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、

国保に対する市民の重税感の堪えがたいものがあると思われま。市民の暮らし、医療を守る立場に立って負担の軽減を図るべきで、限度額の引き上げについて反対します。

問 市内小中学校の学級編制の現状について

答 市内小中学校の学級編制は、小学校が166学級、中学校が64学級です。

問 新たに小学校2年生の35人学級編制が可能となったが、県の状況については、

答 県は加配教員を活用し、小学校2年生と中学校1年生について35人学級編制を実施して、市内においては、小学校3校、中学校2校で実施して

求めることについて(専決

います。

請願第3号 「国における平成28(2016)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

問 市では震災からの復興は完了したのか。

答 市としてはハード面での復興は終了していますが被災児童生徒の就学援助については、現在も行っていきます。

請願第4号 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願

討論

全額国庫負担の最低保障年金制度の実現については、多額の財源の確保が難しく現実的ではないと思われるので、採択に反対します。

討論

年金の引き下げは高齢者だけの安心・安定を損ねるものと言わざるを得ません。高齢者人口の増加により地域経済にとっても年金の引き下げは多大な影響を及ぼすものであるため、請願の趣旨・項目に対しては、採択に賛成します。

経済建設 常任委員会

問 議案第2号 平成27年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第1

号)及び議案第5号 工事施行協定の締結について、平成27年度から30年度までの工事内容は、また、減額補正の理由は、

答 平成27・28年度は、電気設備の更新及び汚泥処理関係の機械設備等の更新です。平成29・30年度は、管理棟、屋根防水等の建設設備の更新や電気設備の更新です。供用開始は、平成31年度を予定して、減額補正の理由は、平成26年10月の予算見振り時点では、実施設計が終わっていないため、現在の機器での入替を想定して予算計上しましたが、実施設計で機器等の選定やプログラム等の組合せを考慮した結果大幅なコストダウンが出来たためです。

問 小見川浄化センターは、平成元年の供用開始当初から5年ごとの改修を想定していたのか。また、今年度からの改修工事は、処理能力の低下等の問題があったのか。

答 現在、国会で審議中の法案の公布日が9月13日に予定される告示日以前の場合、新法により任期が平成28年3月31日までとなり選挙は行わず、その後は新制度による任命となります。告示日以降の場合は、現行法による選挙が行われます。その際、任期は3年となります。

表彰について

平成27年6月17日、東京の日比谷公会堂において、全国市議会議長会 第91回定期総会が開催され、同会の表彰規程により、永年在職議員表彰が行われました。

その表彰において、坂部勝義議員が議員在職15年以上、眞本丈夫

答 供用開始当初は、改修工事に対する補助制度がなかったため、計画的な改修は想定していませんでした。平成27年度からの工事は、処理能力等に問題があったためではなく、施設の長寿命化事業への補助制度ができたため、市の負担を少なくするため、計画的に行うこととしたためです。

問 農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、農業委員会制度改革による選挙への影響は、

答 現在、国会で審議中の法案の公布日が9月13日に予定される告示日以前の場合、新法により任期が平成28年3月31日までとなり選挙は行わず、その後は新制度による任命となります。告示日以降の場合は、現行法による選挙が行われます。その際、任期は3年となります。

議員、高岡正剛議員がそれぞれ議員在職10年以上により、地方自治と市政の発展に貢献された功績により表彰されました。表彰状等は、6月定例会最終日の19日(金)議場において、高木副議長より伝達されました。

6月定例会 議員別の採決結果一覧

◆6月定例会の傍聴者数 22人

議案名等		議員名等	審議結果	久保木清司	小野勝正	平野和伯	田代一男	鈴木聖二	高木典六	高木寛	久保木宗一	林信行	田山一夫	高岡正剛	眞本丈夫	伊能敏雄	坂部勝義	伊藤友則	坂本洋子	林幸安	河野節子	平松大建明	根本太左衛門	宇井正一	木内誠
議案第1号 (総務企画)	平成27年度 香取市一般会計補正予算 (第1号)		可決	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○
議案第2号 (経済建設)	平成27年度香取市下水道事業特別会計補正予算 (第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 (福祉教育)	香取市重度心身障害者の医療費等の助成に関する条例の全部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 (経済建設)	香取市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 (経済建設)	工事施行協定の締結について (香取市小見川浄化センター長寿命化事業建設工事)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 (-)	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて (香取市佐原 齋田 武 氏)		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 (-)	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて (香取市佐原イ 大崎 保司 氏)		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 (-)	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて (香取市佐原イ 小倉 良昭 氏)		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 (-)	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて (香取市富田 鎌形 義孝 氏)		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 (総務企画)	専決処分の承認を求めることについて (専決処分第11号 香取市情報公開条例及び香取市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 (福祉教育)	専決処分の承認を求めることについて (専決処分第12号 香取市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 (総務企画)	専決処分の承認を求めることについて (専決処分第13号 香取市税条例等の一部を改正する条例の制定について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	×	○
議案第13号 (福祉教育)	専決処分の承認を求めることについて (専決処分第14号 香取市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	×	○
議案第14号 (総務企画)	専決処分の承認を求めることについて (専決処分第15号 香取市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号 (福祉教育)	専決処分の承認を求めることについて (専決処分第1号 香取市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号 (-)	副市長の選任につき同意を求めることについて (千葉市緑区 旭 健一 氏)		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号 (福祉教育)	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号 (福祉教育)	「国における平成28 (2016) 年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号 (福祉教育)	年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願		不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	-	×	○	×	×	×	×	○	×
発議案第1号 (-)	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第2号 (-)	国における平成28年度教育予算拡充に関する意見書について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号下の()は、審査を付託した委員会名です。 ○：賛成 ×：反対 ※ 議長(坂部勝義議員)は、採決に加わりません。

市議会を傍聴しませんか

9月定例会の日程

- 8月25日(火) 本会議
- 27日(木) 本会議
- 9月 1日(火) 本会議(一般質問調整日)
- 2日(水) 本会議(一般質問調整日)
- 7日(月) 本会議(一般質問調整日)
- 8日(火) 決算審査特別委員会
- 9日(水) 決算審査特別委員会
- 10日(木) 決算審査特別委員会
- 11日(金) 総務企画常任委員会
福祉教育常任委員会
- 14日(月) 経済建設常任委員会
- 18日(金) 本会議

※上記は、予定であり、変更となる場合があります。
※請願・陳情の9月定例会での受け付けは、8月14日(金)午後4時までとなります。

市議会会議録の閲覧・議会中継の視聴について

香取市のホームページから市議会のページを選択されるか、香取市議会ホームページから「会議録検索」・「議会中継」をクリックしますと定例会・臨時会の会議録の閲覧や議会中継の視聴ができます。

会議録…6月定例会の会議録がご覧いただけるのは、8月中旬になります。

※その他に市役所1階の情報コーナー及び6階の議会事務局、佐原中央図書館・小見川図書館でも閲覧できます。

議会中継…定例会・臨時会のライブ中継は、香取市議会ホームページ及び本庁・各支所で視聴ができます。また、録画中継は、おおむね1週間後から視聴できます。

6月定例会のライブ中継視聴件数 延べ873件

☆香取市のホームページ…<http://www.city.katori.lg.jp/>

☆香取市議会のホームページ…<http://www.city.katori.lg.jp/gikai/>

